

2025都立高校入試問題分析

市進学院

青山の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 22点 大問4 36点 大問5 22点

2025年度試験問題 目標点 67点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
(1)	漂泊	A	2	問1	内容把握(記述)	B	6
(2)	舞踊	A	2	問2	内容把握	B	4
(3)	欧州	A	2	問3	内容把握(説明)	B	6
(4)	滴	B	2	問4	内容把握	B	4
(5)	紡績	A	2	問5	内容把握	C	4
大問2	漢字の書き			問6	200字作文	D	12
(1)	ジュエキ	A	2				
(2)	セキム	A	2	大問5	現古融合文		
(3)	シフクの境地	B	2	問1	語彙	A	4
(4)	コメコ	A	2	問2	内容把握	B	4
(5)	ヒョウガ	A	2	問3	内容把握	B	4
大問3	小説文			問4-A	内容把握(抜き出し)	A	3
問1	心情把握	A	4	問5-B	内容把握(抜き出し)	A	3
問2	心情把握(記述)	C	6	問5	内容把握	A	4
問3	心情把握	A	4				
問4	心情の説明	A	4				
問5	表現の特徴	A	4				

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き→自校作成校の中では一番易しい
3 小説文(約3500字) 4 論説文(約4000字) 5 現古融合文(約2500字)
※大問5の配点が26点→22点に変更

講評

- 文章量は増えたが、難易度は昨年より下がった。
大問4 2つの文章を複合的に読み解く問題がなくなった。
1,2 書き 日常生活の中で目にする語句が多く、標準的な難易度
読み 標準レベルの語句が中心
3 上田健司『薬師湯』
薬師湯という銭湯で手伝いをしている青年がプラネタリウム鑑賞を通して職人の矜持について考える作品。内容的は読みやすい。
昨年にはなかった記述(15字以内)が1題追加された
4 保坂和志『世界を肯定する哲学』
「宣言的記憶と非宣言的記憶について述べた論説文。
文章が2つや図表入りの文章を出した年もあったが、原点に戻った感じ。ただし、内容は難しく、易しくなったわけではない。
作文 問の会話も参考にして、人間にとって大切な記憶について述べる
5 若山滋『文学の中の都市と建築』
「枕草子」の空間的な美について述べている文章
現代語訳を参考にしながら、わからない語彙は推測する力が必要。

青山の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点(記述3題)

2025年度試験問題 目標点 55点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形		
問1	2025問題	A	5	問1	角の大きさ	A	7
問2	連立方程式	A	5	問2	四角形の面積	A	8
問3	確率(サイコロ)	B	5	問3	等積変形の証明	C	10
問4	データの大小	A	5				
問5	作図(円周角)	A	5	大問4	空間図形		
大問2	二次関数			問1	立体の体積	B	7
問1	中点の利用	A	7	問2①	線分の長さ	B	2
問2(1)	①②③座標	A	2	問2②	線分の長さ	B	2
問2(1)	④⑤座標	B	2	問2③	立体の体積(記述)	B	6
問2(1)	⑥方程式から座標を求める	B	6	問3	立体の体積	C	8
問2(2)	新しい図形を利用して座標を求める	B	8				

問題分析

- 1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形 4 空間図形 (会話文形式→慣れること)

講評

- 例年よりは難易度がアップ。会話文の問題は出題者の意図を読み取ることが大切。問題文の誘導に乗って解いていくことが大切。
1 例年通り小問5題の出題。難易度の差が大きい青山の数学では、この小問は全問得点したい。
2 典型問題が多く、大問1同様、確実に得点したい。
「座標を文字で置く⇒方程式に持ち込む」が常套手段
3 平面図形。問3は面積が同じ三角形を選び、それを証明する問題だが、ACに補助線を引けないと難問。
4 空間図形。先生の会話文で問題が構成されている。
問3は直前の問題文中のヒントを使えるかが得点できるかの分かれ目。

青山の英語

配点 大問1 20点 大問2 30点 大問3 34点 大問4 16点

2025年度試験問題 目標点 60点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	物語文読解		
問題A	対話文1 内容一致	A	4	問1	適語補充	B	4
	対話文2 内容一致	A	4	問2	適文選択	B	2
	対話文3 内容一致	A	4	問3	適語補充	A	4
問題B	Q1 内容一致	A	4	問4	適文選択	A	2
	Q2 内容一致記述	B	4	問5	適文選択	A	2
大問2	対話文読解			問6a	条件英作文	C	6
問1	語句整序	A	3	問6b	条件英作文	C	6
問2	空所補充	B	4	問7	適文補充	B	4
問3	語句整序	A	3	問8	内容一致	B	4
問4	空所補充	C	4	大問4			
問5	文整序	B	3	問1	条件英作文	B	4
問6	適語句補充(記述)	C	6	問2-1	条件英作文	C	6
問7	内容一致	A	3	問2-2	条件英作文	C	6
問8	内容一致	B	4				

問題分析

- 1 リスニング 2 対話文
3 物語文 4 英作文 長文の語数 約2800語
※今年度は出題形式が、大きく変更された。記述式の配点も増加。

講評

- 難易度は昨年度より上昇した。大問4に英作文問題が独立して出題された。
選択問題が減り、単語を書かせる問題を含めると、全体の5割は記述式。
1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の用法の誤りなどに注意。
2 「個人での学習」と「集団での学習」についての対話文。
空所前後や本文の流れを問う問題が多いので注意。
3 「大切なものを人にあげる幸せ」についての物語文
英作文を含め、しっかりとした英語力(アウトプット力)を身に付ける必要がある。
4 「電子書籍」をテーマにした英作文。問1では電子書籍を読む生徒数の推移から読み取れること。問2では電子書籍と紙の書籍のそれぞれを利点を記述する問題。傾向が変わっても、解答できる力を身に付けたい。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2025目標点 英数国182+理社164=346
目標内申 61/65

難易度の表記

- A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D: 難問(1問でも出来れば良し) 目安→正答率39~11%
E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下